

★センターからのお知らせ★

◆世界エイズデー in Yokohama 2017 終了しました!

日時：2017年11月18日(土) 11:00~16:30
 会場：新都市プラザ(横浜駅東口)
 主催：横浜 AIDS 市民活動センター
 参加団体：アジアの女性と子どもネットワーク、一般社団法人神奈川県臨床検査技師会、公益財団法人横浜YMCA、認定NPO法人AIDSネットワーク横浜、認定NPO法人SHIP
 参加人数：延べ1300人



上) 世界中で12月1日は「世界エイズデー」です。

下) 昨年から HIV に関する若者向け意識調査を実施しています。たくさんの参加があり、質問に答えてもらいながら、HIV の基礎知識をお伝えすることができました!



◆啓発パンフレット・チラシのご案内

横浜 AIDS 市民活動センターは横浜市内でエイズに関連する活動を行う学校・団体・ボランティアに啓発パンフレット・チラシ等を無料で配布しています。エイズ以外に性感染症・性に関する内容など様々な種類があります。お気軽にご相談ください。



上) 横浜市健康福祉局健康安全課発行「20代、30代に「梅毒」流行中!」「そうだ! 検査に行こう!」

NPO/NGO 情報

左) 横浜市の夜間休日エイズ電話相談を担当している AIDS ネットワーク横浜のパンフ

中) 認定 NPO 法人 SHIP が行っている、性的マイノリティの青少年支援「SHIP にじいるキャビン」のパンフ

右) NGO LAP が行っている HIV 陽性者支援「LAP Positive TALK」のパンフ

◆平成30年度青少年向け啓発事業の募集について

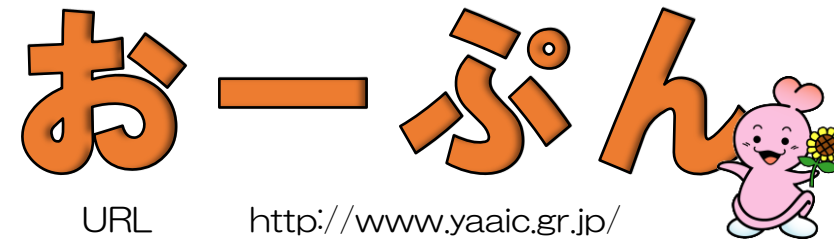
横浜 AIDS 市民活動センターが行う平成30年度青少年向け啓発事業の応募受付は、平成30年3月初旬~を予定しています。(応募要項は2月下旬にセンターHP 掲載予定、横浜市立の小中高には要項を送付します)

【青少年向け啓発事業とは】

横浜市内の学校及び団体の青少年(小学生高学年・中学生・高校生)を対象に、エイズについての正しい知識の普及及び患者・感染者への理解を図るために、センターが委託した NPO/NGO 等から講師を派遣し、エイズに関する講演会やワークショップを無料で実施します。

お問い合わせ: 横浜 AIDS 市民活動センター TEL 045-650-5421

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!



URL <http://www.yaic.gr.jp/>

発行: 横浜 AIDS 市民活動センター
 公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。

〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
 尾上町ビル9F / TEL: 045-650-5421
 FAX: 045-650-5422 / E-mail: info@yaic.gr.jp
 平日: 13:00~20:00 / 土・祝: 10:00~17:00
 休館: 日/火
 監修: 横浜市健康福祉局健康安全課

特集 ~ 春に読んでほしい本 ~

性・エイズに関する学習会 2018

◀ UPDATE! インターネット時代の危ない恋愛事情 ▶

日時: 2018年3月24日(土) 10:30~12:00
 講師: 宮崎 豊久さん (インターネットポリシースペシャリスト)

内容: 「インターネットって、何でもできちゃう。」「慣れてるから、一人でも大丈夫!」一ちょっと待って!! ネット上で、あなたが「そんなつもりはなかった」として、相手は「そんなつもりがある」かも・・・
 インターネットについて知識不足と感じている方や、今こまっている方に、具体的な事例をもとに、インターネット時代の青少年の問題を伝えます。いっしょに新しい知識を学び、新年度を迎えましょう。

—講師経歴—

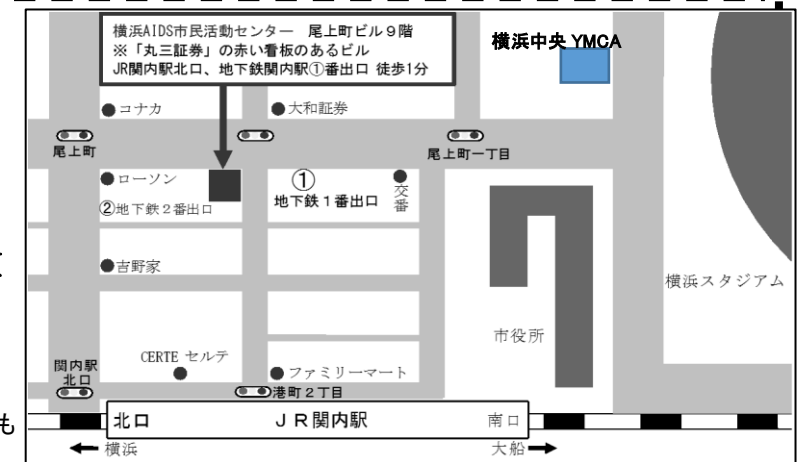
平成13年から米国シリコンバレーのフィルタリング企業プロジェクトマネージャー、ヤフー株式会社フィルタリングデータ部門責任者、財団法人インターネット協会主任研究員を歴任。警察庁外郭団体インターネット・ホットラインセンターのシニアアナリストとして、国際刑事警察機構などに参加。日本思春期学会幹事。学校ネットトラブル相談窓口専門家として活躍。

会場: 横浜 AIDS 市民活動センター
 横浜市中区尾上町3丁目39番地尾上町ビル9F
 JR 関内駅北口/地下鉄関内駅1番出口より徒歩1分
 丸三証券のビルの9階です。

定員: 15人 事前申込制
 費用: 無料

申込方法: 件名に「3月講座申込」、本文にお名前・ご連絡先をご記載の上、横浜 AIDS 市民活動センターまで E-mail か FAX でお送りください。
 (受付後、折り返しご連絡いたします。1週間以上も返信がない場合はお手数ですがお電話ください。)

E-mail info@yaic.gr.jp
 FAX 045-650-5422



講座に関するお問い合わせ:
 横浜 AIDS 市民活動センター TEL 045-650-5421

自分のこころとからだを知って

特集 ～春に読んでほしい本～

居場所ってなんだろう・どこだろう

みなさんはこの一年、どんな生活やどんな学びをしましたか？
当センターに関わってくださる団体・個人の方々から、春に読んでほしい本を推薦してもらいました。「性・家庭・人間」など、みなさんの視野が広がる本です。

横浜市夜間休日エイズ電話相談を担当しています。市内の中学校などで、性や命の講演もしています。あなたの悩みがあなただけの問題ではないことに「はっ」とするよ。



中野久恵さん

「新版 性の'幸せ'ガイド」 関口久志 著

みなさんは、恋愛やセックスについて、友だちと話し合ったりしますか？

- ・恋バナってするけど、つき合うってどういうことなの？
 - ・毎晩、マスターベーションしてしまうけれど、自分は異常なのかな？
 - ・小さいころから好きになるのは同性の人ばかり。自分っておかしいの？
- などの悩みや疑問を一人でかかえこんでいませんか？

そもそも「性」って何なのでしょう。「性」ってエッチでいやらしいことと思いませんか。そんなモヤモヤした気持ちや思いを持っている方にお勧めの本です。著者の関口久志さんは、高校生や大学生に「性」をテーマにした授業を数多くされてきた方です。この本は、11章からなり各章では基礎知識を得ることができます。でもそれ以上に興味深く読めるのは、授業を受けた若者の経験や感想がつづられた「リアルストーリー」です。あなたの悩みがあなただけの問題ではないことに気づかせてくれたり、「性」について考える糸口が見つかることと思います。



堀尾吉晴さん

私も横浜市夜間休日エイズ電話相談を担当しています。中・高生の頃は、これまでに両親・親友・学校・社会などに作られてきた自分を点検し、自分で自分をつくり始める時代ですよね？自分を絶対的に見るのではなく、他者も自分も対等という視点を君はもっているかな？

「裸のサル」

動物行動学の古典で、デズモンド・モリスが書いた、ヒトを動物の視点から見たもの。「他の動物とくらべ、人間は極端な未熟児で生まれる」など、刺激的ですよ。



「ドリアン・グレイの肖像」

オスカー・ワイルド作。自分の外面は変わらないのに、自分の行動・内面の变化に合わせて、壁にかかっている自画像が変わっていく。

インターネットポリシースペシャリストとして活動しています。家族とのつながりで「いい家の本」を紹介します。



宮崎豊久さん



「いい家の本—もっと家について考えてみませんか？—」 宮脇檀 著

春は新しい生活の始まりになる方も多いと思います。みなさんは生活の基礎となる住居について考えたことはありますか？日本の有名な住宅建築家・エッセイスト宮脇檀(みやわきまゆみ)さんの「いい家の本—もっと家について考えてみませんか？—」を紹介します。今では当たり前のように見るLDKの表示。でもリビングってなにをするところ？子ども部屋って本当に必要なの？システム化された日本の家づくりに一石を投じたこの本は、子どもの居場所づくりやコミュニケーションの重要性を考える上で、とても興味深い指摘がされています。家庭内でなぜ会話が生まれてこないのか？なぜ引きこもりが起ってしまうのか？その大切なヒントを発見できるでしょう。



コムちゃんからは、「知ってる？LGBTの友だちマンガ レインボーKids」をおススメします。手丸かのこ/まんが 金子由美子/解説・監修



これはLGBTについてのスクールコミックです。ふだん、気づかなかったことや、これまで困っていたことについて教えてくれるでしょう。大人にもおススメです。

LGBT配慮促進キャンペーンが、9都府県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)で2017年12月1日から実施されています。

—9都府県共通メッセージ—

「あなたはあなたのままでいい～JUST the Way You Are」

この本以外にも、性・青少年・LGBT・DVなどについての本や絵本が横浜AIDS市民活動センターにはあります。自分が不安になった時、周りの人が困っている時、横浜AIDS市民活動センターがあることを思い出してください。本の貸出OK、センター内にあるチラシは自由に持っていきます。イベント情報も随時更新しています。